

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	スーパー（経営 企画担当）	お客様の様子	・東日本大震災の直後は売上が前年比30%近く伸びたが、反動で後半は客数、売上共に急激に低下してきて、3月期通期では10%ほどの伸びであった。
		コンビニ（店 長）	来客数の動き	・東日本大震災の影響で、物流形態の変更や生産停止、水道の問題等もろもろのことが起こり、パニックの中、水、パン、弁当を始め、あれば何でも売れるというような異常な状態であった。
		その他レジャー 施設 [アミュー ズメント]（職 員）	来客数の動き	・身近なレジャーで時間を過ごせるということがポイントなのか、地震と計画停電がスタートしてから、来客数、売上共に非常に増えて一種の特需になっている。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	販売量の動き	・世間一般的には景気が悪く買い控えをしている感じなので、新学期で新入生の販売が落ちるかと思っただが、想像した以上に良く、昨年とほぼ同じくらいである。
		コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・このような災害の時に景気が良いとは言わないと思うが、東日本大震災の翌日から6日間は品物があれば何でもいくらかでも売れた。
		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・東日本大震災の影響がいろいろ出てきており、商品入荷等多くの課題を抱えているが、来客数についてはやや伸びている。
		コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・東日本大震災の影響で、単品を大量に買っていくという現象がある。売上は前年比100%を超え、客数は95%と、先月とは全く状況が変わっている。
		コンビニ（店 長）	販売量の動き	・当地は被害があまりなかったが、東日本大震災以降、極端に品不足の物が出てきたり、流通が滞ったために駆け込みで需要があるなど、変な伸び方になって、売上としては若干良くなってきている。
	家電量販店（店 長）	それ以外	・エコポイント対象商品の駆け込み需要で上向きになりかけていたが、11日の東日本大震災の影響で一般営業継続が困難となり、一部仮営業することになっている。仮営業で需要が多いのは、地上デジタル放送に対応したばかりの液晶テレビやオープンレンジ等の被災による買換え等である。	
	乗用車販売店 （経営者）	販売量の動き	・需要期のため、3か月前よりは良くなっているが、東日本大震災のため、落ち込みが始まっている。	
変わらない	一般小売店 [家 電]（経営者）	単価の動き	・販売量は伸びているが、単価が下がっているので売上があまり伸びていない。	
	スーパー（店 長）	お客様の様子	・売上、来客数、点数共に異常に伸びているが、これは東日本大震災による特需で、一過性のもと思われる。この後は買ったための商品が消費されるまで厳しくなる。	
	スーパー（統 括）	販売量の動き	・東日本大震災の影響で、米、カップめん、水、パン、乾電池などの動向は高いが、衣料品は地震以降客の購買意欲が低下している。特にアパレル、貴金属、旅行関係は深刻な状況で、当分の間厳しい状況が続くそうである。	
	乗用車販売店 （管理担当）	販売量の動き	・東日本大震災の影響により、一部商品が品不足となっている。また、放射線汚染の影響により周辺での野菜類や乳製品の買い控えが続いている。ガソリン単価が高騰し、生活費を圧迫しつつある。	
	自動車備品販売 店（経営者）	来客数の動き	・災害があり、通常の販売はマイナスであるが、反面特需的なものもあるので、販売量は同じくらいになっている。	
	住関連専門店 （統括）	販売量の動き	・気候変動が激しく、冬物残品の動向は良かったが、春物の動きが弱い状況である。また、東日本大震災により、関東以北の地域消費傾向に変化がある。	
	通信会社（局 長）	お客様の様子	・季節柄、転入居時期であるのでこの特需を除外すると、客の样に大きな変化はない。また、3月11日以降は、東日本大震災、福島第一原子力発電所問題により、計画停電、ガソリン問題、買占め等、経済、消費環境に大きな変化をもたらし、心理的購買抑制の動きがあった。	
	競輪場（職員）	お客様の様子	・来場者数、購買単価共にさほど変化がみられない。	

	その他サービス 〔清掃〕（所 長）	それ以外	・先月までは送別会、大学の総会等は規模を縮小する傾向だったが、東日本大震災による甚大な被害等により中止が続いている。その他計画停電やガソリンの品薄等が景気に与えた影響も大きい。
	設計事務所（経 営者）	それ以外	・年度末締め切りの仕事が多いため、今のところ仕事量はある。
	設計事務所（所 長）	お客様の様子	・23年度予定であった工事の補助金交付が未定となり、現在停止している一方、この東日本大震災で社屋の危険性が高まったことから、建て替えを検討したい等、様々なケースが見られる。
	設計事務所（所 長）	来客数の動き	・今期最後のイベントを先日行ったが、今一つ受注獲得につながらず、成果が得られなかった。毎月受注の厳しさを感じている。
やや悪く なっている	商店街（代表 者）	お客様の様子	・町内大半の飲食店等では今回の東日本大震災によって宴会等がすべて中止され、大打撃とのことである。
	一般小売店〔精 肉〕（経営者）	お客様の様子	・東日本大震災の影響で物資が無くなって買い占めが起こり、スーパー等から必需品が消えた。ガソリンも不足し、車にも乗らなくなっている。
	一般小売店〔家 電〕（経営者）	お客様の様子	・東日本大震災、福島第一原子力発電所の暗いニュースの中で、社会全体の動きが停止してしまっている。徐々に回復の兆しが見えてきているものの、目に見えて必要な物への消費や先行きの不安から発生している買い占めで、エコポイント制度終了を控えても、家電購入へ目は向いてこない。バランスの悪い消費では先行きは厳しい。
	百貨店（営業担 当）	来客数の動き	・東日本大震災の後、非常に客の来店が少なくなっている。客とすれば買い控えは当たり前前の状況だと思う。当店でも節電対策をしながら、来た客を大事にしている。
	百貨店（営業担 当）	来客数の動き	・東日本大震災による影響で客数が減っている上、営業時間も若干短くなっているため、その影響もある。
	スーパー（経営 者）	お客様の様子	・東日本大震災後、生産活動や消費が停滞している。
	コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・東日本大震災後、旅館の客が激減し、スキー客や観光客がほとんど来店しなくなった。
	コンビニ（経営 者）	お客様の様子	・東日本大震災により、あらゆる業種が影響を受けていて、先行きが不安である。
	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・東日本大震災の影響か、経済状況に全く動きが無い。計画停電のせいも、客も来店せず非常に大変な状態である。
	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・3月前半は客の動きが非常に悪く、中盤以降は東日本大震災のために地域で予定されていたイベントや送別会等が自粛され、さらに売上に影響している。
	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・東日本大震災の影響がてきめんに出ている。客商売にとってイベントの中止、人員の減少などマイナスなことばかりである。
	観光型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・東日本大震災の影響を受け、予約のキャンセルが相次いでいる。
	都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	・少しではあるが回復の兆しが見えていたところに、東日本大震災の影響でキャンセルが多くなり景気も低迷している。
	旅行代理店（従 業員）	お客様の様子	・東日本大震災及び福島第一原子力発電所の問題で、キャンセルが相次いでおり、3月だけでもほぼ全部キャンセルとなっている。
	通信会社（経営 者）	お客様の様子	・東日本大震災による将来不安から、生活必需品の確保にのみ躍起になっている。灯油は売れるが小口の配送が増える分経費が加算し、配送する車の燃料確保が困難な状況である。
	ゴルフ練習場 （経営者）	単価の動き	・客が割引率や単価に敏感になっている。
	ゴルフ場（業務 担当）	来客数の動き	・東日本大震災後の客の心理的な影響が大きくなっている。
ゴルフ場（副支 配人）	来客数の動き	・東日本大震災以来、キャンセルが著しく多く、客が大幅に減っている。	
美容室（経営 者）	お客様の様子	・東日本大震災による影響で、計画停電が実施されている時間帯は美容院の予約が全く入らず、3月は年で2番目に忙しい月であるが、売上が良くない。また、結婚披露宴等、招待客に東北地方の親戚が多いところはキャンセルが続出している。	

	その他サービス [立体駐車場] (従業員)	お客様の様子	・東日本大震災の影響で3月11日以降、商業施設とホテルすべてが閉鎖となっており、客が来店しない。利用に関する問い合わせは非常に多いものの、利用は全くないため、売上も無い状態が続いている。今週に入って、やっと月ごめの車両の入庫許可が出て、若干入庫があった。ビル自体の安全点検が間もなく終わるが、それ以降の復旧を待っている状態なので、悪くなっている。
	設計事務所(所長)	来客数の動き	・新規の仕事の依頼、相談等、仕事につながる話は全く無い。今まで以上に悪くなることは無いと思っていたが、まだまだ景気は悪くなっている。
	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・東日本大震災により、不安が広がり高額な取引を控える傾向がある。ガソリンに始まり物資の供給に不安もあり、福島第一原子力発電所事故の件が落ち着くまでは、近隣県が元に戻るのには困難だろうと予想される。
	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・東日本大震災以降、展示場来場者が激減し、現場案内会も自粛している。
悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・観光関連のため、東日本大震災以降客足がばったり途絶え、春休みは例年稼ぎ時なのだが、売上は前年比7割減少である。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・前は年配客が定期的に来店していたが、東日本大震災以来ばったりと商店街に人影がなくなっている。節電で店が暗く、閉店時間も早く、損壊しているため休業する店も出てきている。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・東日本大震災の影響は心理面ばかりでなく、計画停電という、肌で感じることとなったため、外出や買物を控えてしまっている。
	一般小売店[衣料](経営者)	来客数の動き	・11日に東日本大震災が起こり、観光地に客が全く来なくなった。一般の店もそれにつられて悪い状況である。
	一般小売店[乳業](経営者)	それ以外	・東日本大震災の影響がある。
	百貨店(営業担当)	それ以外	・景気はやや改善している感があったが、東日本大震災及び計画停電の混乱から、必需品以外への消費マインドが低下している。今までとは別の将来不安が景気を後退させている。
	百貨店(営業担当)	来客数の動き	・東日本大震災の影響で不要不急品の買い控えが進んでいる。
	百貨店(販売促進担当)	販売量の動き	・東日本大震災の影響により消費マインドの低下が著しい。食料品以外の売上は軒並み大幅減となっている。
	スーパー(総務担当)	販売量の動き	・東日本大震災の後、物流の関係で食料品は商品がそろわない。例えば2リットルの水が入ってきたらすぐ売ってしまう状況で、品ぞろえは出来ておらず、あまり良くない。社会祭事関係での動きは若干はあるが、服飾衣料関係についてはほとんど購買意欲が無い。
	スーパー(総務担当)	それ以外	・当地区は東日本大震災の震源地に近く、当店の建物も被害があり、まだ修理が終わらない状態にあるため、完全営業には至っていない。地域でも被害に遭っている住宅が多数あり、食品、日用品以外の商品はしばらく購入を控えそうである。
	コンビニ(経営者)	それ以外	・東日本大震災により物資、品物が入って来ない。
	コンビニ(経営者)	それ以外	・東日本大震災の影響で商品の入荷が無く、客の買い控えもあり、景気が悪くなっている。
	衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・東日本大震災の影響は大きく、衣料品の買い控えをしている。
衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・東日本大震災の影響かと思うが、衣料品の販売は大変苦勞している。やはり皆食品や雑貨の買いだめに走っているのか、衣料品関係はかなり厳しい状態である。	
衣料品専門店(経営者)	それ以外	・東日本大震災があつてから、全く人通りが無い。	
衣料品専門店(店長)	お客様の様子	・東日本大震災前は客数は減少していたものの、単価が上がっていたため、前年比で売上が10%上がっていたが、地震後は客数もばったりで、客数は40%、売上は30%減少している。屋根や壁などに被災した客も多く、余震もあるため旅行やイベントもキャンセルするなど、食料品以外は買物どころではないようである。	

衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・11日の東日本大震災を境に、本当に客が出てこなくなっている。地震で買物をする心境ではないのは当然のことだが、それに輪をかけて計画停電があり、これが精神的な不安要素にもなっているようである。やっと4月に向けて景気が上向きかと思っていた矢先にこの状況になって、被災された方には大変申し訳ないが、営業活動ができるか、存続できるかどうか本当に不安である。
家電量販店(経営者)	来客数の動き	・東日本大震災の影響で、需給ともに落ち込んでいる。
家電量販店(営業担当)	それ以外	・東日本大震災の影響は関東で大きい。直接の被災地ではないが間接的に影響があり、各取引先は東北に営業所が多く、打撃を受けている。
乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・東日本大震災の発生と津波の影響、福島第一原子力発電所の今後の動向で変わるが、地域の経済活動が低迷し、当社の営業活動もしばらくは厳しい状況である。
乗用車販売店 (販売担当)	来客数の動き	・3月の頭から地震が起きるまでの間は比較的良かったが、その後、来客数はがた落ちである。展示会をやっても全く客の姿を見ない日がある。このような時期なので、客は車を買う気にならず、全く動きがない。
乗用車販売店 (販売担当)	来客数の動き	・平日祝日も含めて来場者数が極端に減っている。要因は東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故だと思うが、当店は観光地に面しているの、ホテル関係の客がほとんどキャンセルとなり、とにかくひどい状況である。
高級レストラン (店長)	それ以外	・東日本大震災の影響でディナーの予約が大量にキャンセルになり、また、フリーの客も激減している。
一般レストラン (経営者)	それ以外	・東日本大震災の影響でキャンセルが多数出ている。計画停電の影響がこんなに大きいとは予想していなかった。社会が動かなければ被災地への援助もできないので、自粛し過ぎるのは問題である。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・今回の東日本大震災や福島第一原子力発電所による被害は当地区でも相当なものがあり、客が半減している。
スナック(経営者)	来客数の動き	・ここ数年、悪くなる一方だったが、地震から後の半月間はほとんど客が来ない日もある異常な状況で、これが半年も続けば廃業も考えないといけない。
スナック(経営者)	お客様の様子	・競争相手の安い販売価格などが響いている。東日本大震災の影響もあって、とても大変である。
観光型ホテル (営業担当)	来客数の動き	・東日本大震災の影響により、宿泊のキャンセルが相次ぎ、公のイベントも取消となっている。旅行社によるスキーツアーも販売が終了となってしまった。また、多くの外国人でにぎわっていた近隣地域は、震災直後、外国人客がほとんど帰国してしまい、宿泊、観光事業にも多大な影響が出始めている。
都市型ホテル (支配人)	それ以外	・東日本大震災により、建物に相当な被害を被った。設備も随分やられて、現時点では復興が出来ていない。回収、修理の業者がなかなか来てくれない状況で、再開業がいつになるのか目途が付いていない。
都市型ホテル (スタッフ)	それ以外	・3月になり歓送迎会等が入ってきて少しずつ上向いてきていたが、東日本大震災で一挙に会議や懇親会等がキャンセルとなっている。宿泊関係は連絡がつかず、大混乱で、売上では1億円近く減である。
都市型ホテル (スタッフ)	それ以外	・東日本大震災のため、今はいろいろ展開を行う時期ではないとのことで、ホテルでも飲食部門でも5割方キャンセルとなっている。
旅行代理店(経営者)	来客数の動き	・東日本大震災の関係で経済ががたがたになっている。
旅行代理店(副支店長)	それ以外	・東日本大震災前までは前年比100%を越えていたが、地震後周りに旅行に行く様子が見受けられず、キャンセルにより90%まで落ち込んでいる。
旅行代理店(副支店長)	それ以外	・東日本大震災の影響により、上旬まではある程度好調に推移していた予約がすべて消えた状況である。兵庫県南部地震や新型インフルエンザ以上の未曾有の危機であり、回復の見込みが一切立たない。
タクシー(経営者)	お客様の様子	・3月12日以降、人の移動が極端に減少したため、前年同月と比べて、13%の減少である。

	通信会社（経営者）	販売量の動き	・東日本大震災の影響についてメディアでは東北を中心に報道しているが、茨城県も甚大な被害を受けている。工場は生産体制が戻らず、ユーザーからの受注取消、納期や支払の延期等があり、すべてがストップしてしまっている。	
	通信会社（販売担当）	それ以外	・東日本大震災による復興の目途が立たないことや、福島第一原子力発電所の復旧目途が立たないことで社会全体に不安感がある。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・東日本大震災の2次的影響や急きょ決定した計画停電の影響によって当地域の旅館が休業するなど、様々な影響から観光客がいなくなっている。	
	遊園地（職員）	来客数の動き	・東日本大震災により、レジャー関連施設への出控え傾向がある。	
	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・3月上旬には前年並みの予約状況だったものが、11日の東日本大震災後、キャンセルが急増し、予約が入らず、売上は激減した。周辺の県外来場者の多いコースはキャンセルが膨大である。	
	その他レジャー施設 [アミューズメント]（店長）	それ以外	・東日本大震災以降、母体ショッピングセンター全体が復旧工事のため営業を停止したため、約1か月間の休業となり、大打撃となっている。	
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・東日本大震災の影響もあり、来客はほとんど無い。	
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・販売量的に来客数が落ち込んでいる。	
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・北関東は今まで景気が良くない状況下において、さらにこの東日本大震災のためにますます悪くなったような感じがする。最近では客からの電話も不動産の動きもほとんどない状況である。	
企業動向関連	良くなっている	その他製造業 [環境機器]（経営者）	受注量や販売量の動き	・顧客からの仕事と昨年からの計画が新年度稼働なので、納期を3月に間に合わせるため大変忙しい。
	やや良くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先のうち、自動車関連の2～3社は悪い状況だが、それ以外の7～8社は非常に好調なので、今のところは良い状況である。
	変わらない	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・計画停電のために工場のリズムが狂って、稼働が悪くなり生産も上がらない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・災害による消費者の買い控え等が懸念され、その影響が取引先販売店舗にも顕著に表れている。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・依然として悪い状況が続いている。
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の様子が分かれば一番いいが、いつも先行き良くなるというだけで、当てにならず、なかなか良い返事がもらえない。
		金属製品製造業（経営者）	それ以外	・当地区では工業団地組合、金属組合全般に渡って被災を免れ、生産も受注も今のところ通常のところが多いが、計画停電で生産が半分以下に低下するなど大変な状況である。特に前日の遅くに変更されるので全く予定が立たず、混乱している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・一部に部品の入荷が止まり、生産できないところがある。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前月同様に、客先の電話システムの生産量の伸びが見られない。	
		新聞販売店 [広告]（総務担当）	取引先の様子	・東日本大震災後、小売関連では食料、ガソリン、日用品など、まとめ買いの影響で品物がなくなり売上を落とす店があった反面、影響されない仕入れルートを持つ量販店では、正月を大幅に超える売上を記録したと聞いた。2週間経過して、消費者の落ち着きとともに売上も落ちているようである。今月のチラシ出稿量は震災の影響が大きく75.3%、震災後の半月では前年比60%となっている。
やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・東日本大震災の影響による。	
	食料品製造業（製造担当）	それ以外	・原材料、原油価格が高騰し始めており、もう少しで利益分が完全に吸収されてしまう。値上げしたいが、できる状況ではない。	
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・来年度の見積競争で金額が相当落ちてきている。大変厳しい状況である。	

	プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・東日本大震災の影響で生産、納入ができず、今大変不安になっている。
	一般機械器具製造業（経営者）	それ以外	・東日本大震災とこれに伴う福島第一原子力発電所事故、計画停電や流通インフラ等の問題で当面は下降局面は避けられない。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・先月倒産しそうだと言っていた会社はどうみても4月中で駄目になりそうだが、その代わりにメーカーに直接つなげてもらったので、何とか連鎖倒産はなくなった。今は東日本大震災の需要で注文が殺到している。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・東日本大震災の発生により、特に東北方面、また関東一部の得意先の出荷並びに納品が中止になっている。その反面、災害に対する防災グッズ、ライト、電池、ラジオ、生鮮食品、その他の買占め等もあり、倉庫内の各取引先のストックがなくなるほどの物量が出ている状況で、前年並みの物量は確保しているものの、景気が良いということではなく、危機感からの状況である。また、燃料価格が高騰しており、コスト的にも負担が大きく、利益の確保は難しい状況である。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・東日本大震災の影響で産業面に様々な影響が及んでおり、経済活動が途絶えてしまっている。
	経営コンサルタント	それ以外	・東日本大震災の影響で一時的に生産と消費が足踏み状態になっている。企業の生産能力や家計の消費性向などの面でファンダメンタルズは変わっていないが、震災という突発的なかく乱要因のために需給関係が異常になっている。
悪く なっている	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・わずかながら上向きになってきたところへ、東日本大震災の影響で出荷がストップしてしまい、来客数は激減している。
	一般機械器具製造業（経営者）	それ以外	・東日本大震災の影響で多くの取引先で甚大な被害が出ており、製品を納入できない状況にある。
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・大手の親企業2社からの注文はゼロで、休業は約1か月と言われている。
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・東日本大震災発生に伴って、自動車の主力メーカーからの受注がすべて停止し、作れど販売できずという状況なので、3月の売上は半減以下と見ている。休業、振り替え休日など、手は打っているが大幅赤字は必定である。
	その他製造業 〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月に多少動きが出てきたと思った矢先の東日本大震災で、東北の顧客に商品が送れなかったり、商売が出来ない状態が続いている。地震後の展示会はほとんど集客出来ず、名古屋、大阪、九州も地震の話題で今宝石どころではないといった雰囲気が強く、地震以降の商売が大きく落ち込んでいる。
	通信業（経営者）	受注量や販売量の動き	・東日本大震災後ほとんど受注が無い。
	金融業（役員）	取引先の様子	・11日に発生した東日本大震災による計画停電や放射線の影響で、地域ではビジネスホテルや観光ホテルをはじめ、外食産業などの予約の90%以上がキャンセルとなり、日に日に影響が拡大している。
	不動産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・東日本大震災の被害で、2棟あるホテルのうち1棟は設備やサービスがままならない状況であるが、割引でかるうじて運営している。1棟は休業状態となり、売上が予定より相当減額になっている。賃貸、不動産は緊急避難的に賃貸を借りる向きもあるので多少良いが、解約もあるためあまり変わらない状況で、全体的には悪い。
	不動産業（管理担当）	それ以外	・東日本大震災による計画停電の影響で、不慮の事態に備えて人員配置を多くしたため、人件費が増加している。また、急きょ物資を準備しておくことになり、費用がかなり増えている。
	広告代理店（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・東日本大震災前に受注していた販売促進広告の半分以上がキャンセルになっている。
社会保険労務士	取引先の様子	・東日本大震災で建物がすぐに使えず営業再開に時間が掛かったり、燃料不足で企業活動が停滞している。	

		その他サービス業 [情報サービス] (経営者)	取引先の様子	・東日本大震災後、環境が一変してしまった。取引先は現状復帰に奔走し、正常な活動ができていない。
雇用 関連	良く なっている	—	—	—
	やや良く なっている	—	—	—
	変わらない	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・地域内での就業を対象とする求人は増加傾向であったが、東日本大震災以来、少し停滞気味になっているように感じる。
		職業安定所 (職員)	求人数の動き	・現時点で確認できる2月の統計上の数値からは、新規受付の求人数が前年同月比36.3%増加し、月間有効求人倍率が0.76と、雇用環境での景気回復の兆しが徐々に現れて来ていたが、今後は、東日本大震災の影響が大きく影を落として来るものと予測される。
		学校 [専門学校] (副校長)	求職者数の動き	・例年3月に出る欠員補充と思える求人もほとんど出ず、あっても求職者とのミスマッチがある状況で、卒業生全員の就職内定は非常に厳しい。
	やや悪く なっている	求人情報誌製作会社 (経営者)	周辺企業の様子	・東日本大震災以後、多くの商業、サービス業、特に広告、観光、旅行業は自粛に伴い売上が激減しているので、雇用する企業は大幅に少ない。
		職業安定所 (職員)	求人数の動き	・2月の新規求人は、前年同月に比べ増加している。しかし、3月は例年求人が活発になる傾向だが、東日本大震災、計画停電の影響で動きが弱い。
		職業安定所 (職員)	求人数の動き	・東日本大震災により、製造業を中心として、休業する事業所が増えて来ている。それに伴い、求人を出したにもかかわらず採用を保留したり、求人そのものを保留する事業所も増えて来ているため、やや悪くなっている。
		民間職業紹介機関 (経営者)	求人数の動き	・求人は回復基調にあったが、東日本大震災の影響で経営者のマインドが冷え込み始めてきている。一部東北地方から変更する受注も見られるが、全体として大きな力になっていない。
	悪く なっている	人材派遣会社 (経営者)	それ以外	・東日本大震災で、仕事のリズムが狂い、出荷、部品関係などのいろいろなバランスが悪くなり、仕事量が減っている。
		人材派遣会社 (経営者)	それ以外	・ガソリン価格が予測どおり高騰してきている上、東日本大震災の影響は著しく、食品関係、機械製造に特に影響している。住宅の補修関係は動きが出ているが、これは災害によるもので、依然として厳しい状況で推移している。
		人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・ホテルの清掃、メンテナンス等が主力だが、東日本大震災の影響で休館をしているホテルが多数ある。休館していても集客が無く、大変な状況であり、そのあおりで当社も人を出すことができない。
		人材派遣会社 (管理担当)	周辺企業の様子	・東日本大震災により、取引先が被害を受けて受注が止まった企業が多い。
		人材派遣会社 (営業担当)	それ以外	・東日本大震災、福島第一原子力発電所事故で先行きに大きな不安感がある。
新聞社 [求人広告] (担当者)		周辺企業の様子	・東日本大震災の影響で飲食店などから広告の見合わせが続出している。	